日本学術会議の新旧組織対照図

【現状】

日本学術会議

会員210名（**任期3年**）

科学に関する重要事項の審議
科学に関する研究の連絡

答申・勧告 → 政府 / 産業界 国民

会　長	黒川　清（診療科学）
副会長（人文科学系）	戒能通厚（基礎法学）
副会長（自然科学系）	岸　輝雄（金属工学）

部

人文科学分野	第1部（文学、哲学、教育学等）	31人
	第2部（法律学、政治学）	26人
	第3部（経済学、商学・経営学）	26人
自然科学分野	第4部（理学）	31人
	第5部（工学）	33人
	第6部（農学）	30人
	第7部（医学、歯学、薬学）	33人

運営審議会	会長、副会長、部長、副部長等 運営に関する事項を審議
研究連絡委員会	科学に関する研究の領域ごとに固定的に設置

委員会（常置・臨時）

事務局

【改革後】

日本学術会議

会員210名（**任期6年／70歳定年**）

科学に関する重要事項の審議
科学に関する研究の連絡

答申・勧告 → 政府 / 産業界 国民

会　長
副会長
副会長
副会長

部

第1部（人文科学を中心とする分野）

第2部（生命科学を中心とする分野）

第3部（理学及び工学を中心とする分野）

【各部の定員は定めない】

幹事会	会長、副会長、部長、副部長、幹事 総会の委任で会議の意思を決定
連携会員	会員と連携して会議の職務を遂行

委員会（常置・臨時）　【会員又は連携会員により組織】

事務局